

# こちら 道立羽幌病院 です

## 【お知らせ】

### ①診療時間等の変更について

10月より外科外来について、毎週月曜日、午後外来を開始いたします。

□診療受付：午後1時30分～午後3時30分 □診療時間：午後2時00分～午後4時00分

### ②インフルエンザ予防接種の料金について

平成15年度について、年齢に関係なく、1回 2,240円 となります。

(内科・小児科外来にて予約申込みを受付けています。)

### ③10月より病棟(2・3階)の喫煙場所を撤廃し、禁煙となりました。

## 小児科 須貝先生のお話し

### 「こどもの痛み

### (あるいは、泣く)(1)



こどもが痛みを訴えているとき、親は不安になるものです。異常ではないことを確認するだけでも、病院に相談したり、受診したりしておくという場合があります。

今回からは、こどもの「痛み」、あるいは痛みを訴えない赤ちゃんなどの「泣く」を取り上げて、その見方を考えることにしましょう。

痛みにはたいていそれを起こしている、きつかけがあり、小さな赤ちゃんでも何か目につく症状が見つかるものです。まず、次のことを確かめてみましょう。

痛みは体のどの部位ですか。(頭、おなか、腕、足、首、胸など)  
痛みはいつから始まりましたか。  
痛みが始まる直前、こどもはどうしていましたか。(遊んでいた、眠っていた、何か食べていた、具合が悪そうだった、など)  
熱はありますか。

風邪の症状はありますか。  
風邪のような症状はありますか。  
下痢か便秘をしていますか。  
痛みがある以外、何か行動に変わったところはありますか。  
(元気はありますか、ぐったりとしていますか、遊ぼうとしていますか)

痛みはずっと続いているようですか、それとも簡単に気を散らすことができますか。

これらの情報が、診断と治療にもっとも効果的なことなのです。

赤ちゃんは泣く以外に訴える手段はないので、痛いとは限りません。

痛み以外の原因で一番多いのは、「リック(夕暮れ泣き)」です。泣きやまないこどもを車に乗せて一走りした経験のある方も多いでしょう。

これでご機嫌になるなら病気ではありません。(ただし、車から降りたらまた泣くでしょうが・・・)